

平成 22 年 5 月 26 日

弊社サービス利用者様各位
弊社お取引先様各位
報道関係各位
その他関係各位

違法・有害情報に対する対策強化について

愛知情報システム株式会社
代表取締役 青松 兄祐

当社におきましては、平成 21 年 5 月 22 日付でご報告したところに従い、当社サービス内における違法又は有害なデータファイルの削除作業を行っております。

この取り組みの開始までに当社サービス内に蔵置されていたデータファイルについて網羅的に適法性の確認を行い、結果として違法又は有害であると判断された 36 万 8000 件以上のデータファイルを、本日までに削除いたしました。加えて、かかる取り組みの開始以降、当社サービスに新規にアップロードされるファイルについても全て、当社従業員による確認作業を行っております。この作業により、当社サービスにおいて違法・有害な情報が掲載されることのない状態を維持致しております。

ところが、社外の方より、当社サービスに、違法・有害情報が継続的に残存しているとの御指摘を頂戴いたしました。確認したところ、新規アップロードファイルの確認作業において、違法性・有害性があることを見逃してしまっていたファイルがあったことが判明いたしました。

このような事態は当社として大変に遺憾であり、また、本意ではございません。当社はこれを重大な事態であると受け止め、当社の違法・有害情報に対する対策を更に強化することと致しました。

具体的には、人的な監視作業を更に強化することを目的として、当社内に、当社サービスへのアップロードコンテンツを監視する専任部署を新設し、専任人員を配置いたします。これにより違法・有害情報に対する削除対応の迅速化はもちろん、専門知識・ノウハウの集積によって、対応の適切性を向上させます。また、専任部署の設置後も、当社のその他の従業員による確認作業を行うことにより、違法・有害情報に対するダブルチェック・トリプルチェックを行い、削除作業の精度をより確実なものいたします。

さらに、当社サービスにおいてはこれまでもアップロード可能なデータファイルの容量に上限を設けておりますが、これを更に制限的なものとし、著作権侵害となるような各種メディアコンテンツのアップロードを抑止いたします。

今後もよりよいサービスの構築に努めて参りますので、皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻いただきたく、よろしくお願い申し上げます。